

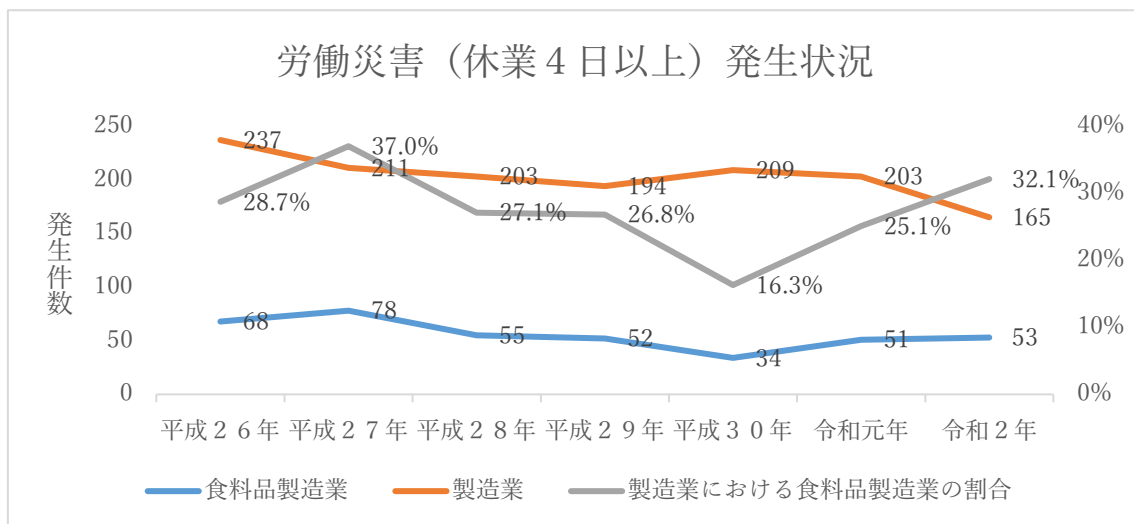
## 厚木労働基準監督署 食料品製造業労働災害発生状況

厚木労働基準監督署は、2018年度から5か年の労働災害減少目標等を定めた第13次労働災害防止推進計画において、食料品製造業の労働災害減少を重点対策に掲げ、管内の労働災害防止団体及び工業団地等との連携を強化し、製造業における施設・設備・機械等に起因する「はさまれ・巻き込まれ」災害防止、食品加工用機械に係る関係法令の順守、「食品加工用機械の労働災害防止対策ガイドライン」及び「食品包装機械の労働災害防止対策ガイドライン」等に基づく取組を周知するほか、「機械の包括的な安全基準に関する指針」を周知し、食料品製造業の事業場における本質安全化を推進しています。

厚木労働基準監督署管内の食料品製造業における下記の労働災害発生状況を参照し、リスクアセスメントの普及促進と必要な見直し、機械設備等の「はさまれ・巻き込まれ対策」に重点を置いた本質安全化の取組強化、転倒災害防止、「職場における腰痛予防対策指針」に基づく腰痛予防、「高年齢労働者の健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」に基づく高年齢労働者対策等、事業場における労働災害防止対策を適切に推進くださるようお願いいたします。

なお、労働災害統計、労働災害事例、労働災害防止対策、リスクアセスメント実施支援、視聴覚教材等の安全衛生に関する各種の情報を、厚生労働省「職場の安全サイト」(<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>)において掲載していますのでご利用ください。

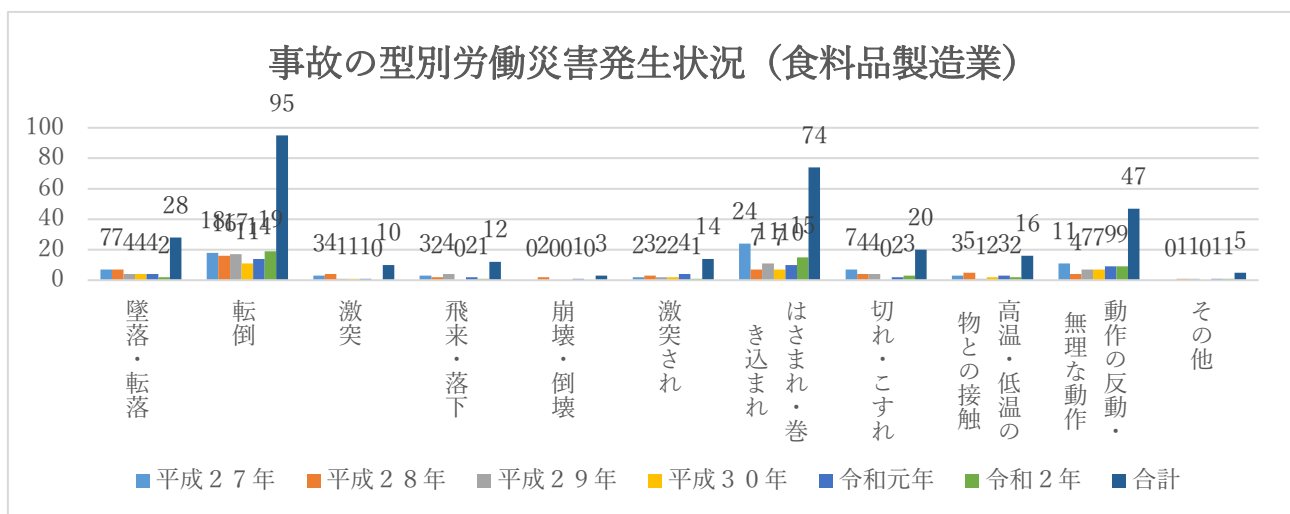
### 1 労働災害発生件数の推移



厚木労働基準監督署管内における令和元年の労働災害（休業4日以上、以下同じ。）発生件数について、製造業は前年比6件減少、食料品製造業は前年比17件増加し、製造業の労働災害における食料品製造業の発生件数割合は25.1%に増加しました。

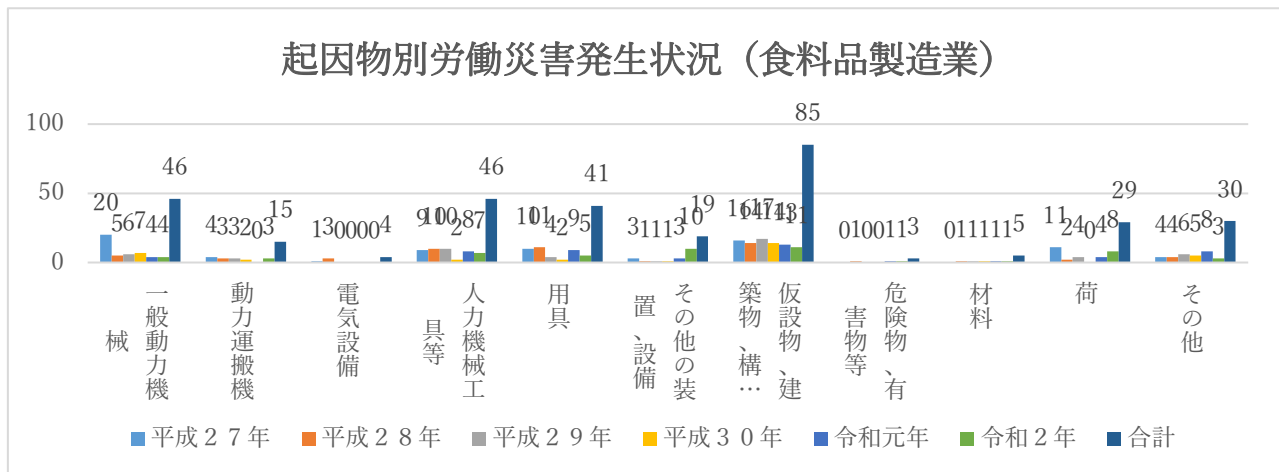
令和2年の労働災害発生件数について、製造業は前年比38件減少、食料品製造業は前年比2件増加、製造業の労働災害における食料品製造業の発生件数割合は32.1%であり、前年から7%増加しています。

## 2 事故の型別労働災害発生状況



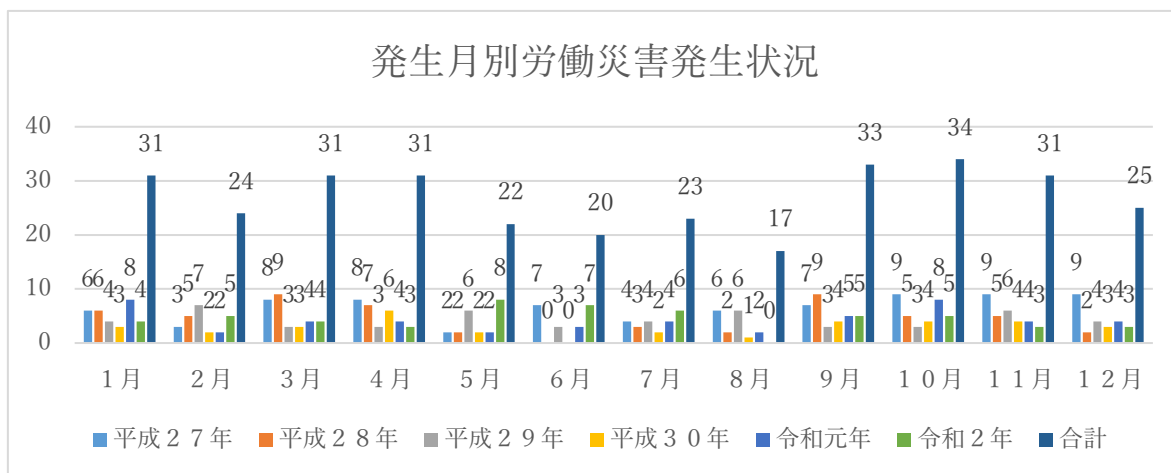
厚木労働基準監督署管内の食料品製造業の事業場において、平成27年から令和2年の6年間、転倒95件、はさまれ・巻き込まれ74件、動作の反動・無理な動作（腰痛等）47件、墜落・転落28件、切れ・こすれ20件、高温・低温の物との接触（熱傷等）16件の労働災害が発生しています。

## 3 起因物別労働災害発生状況



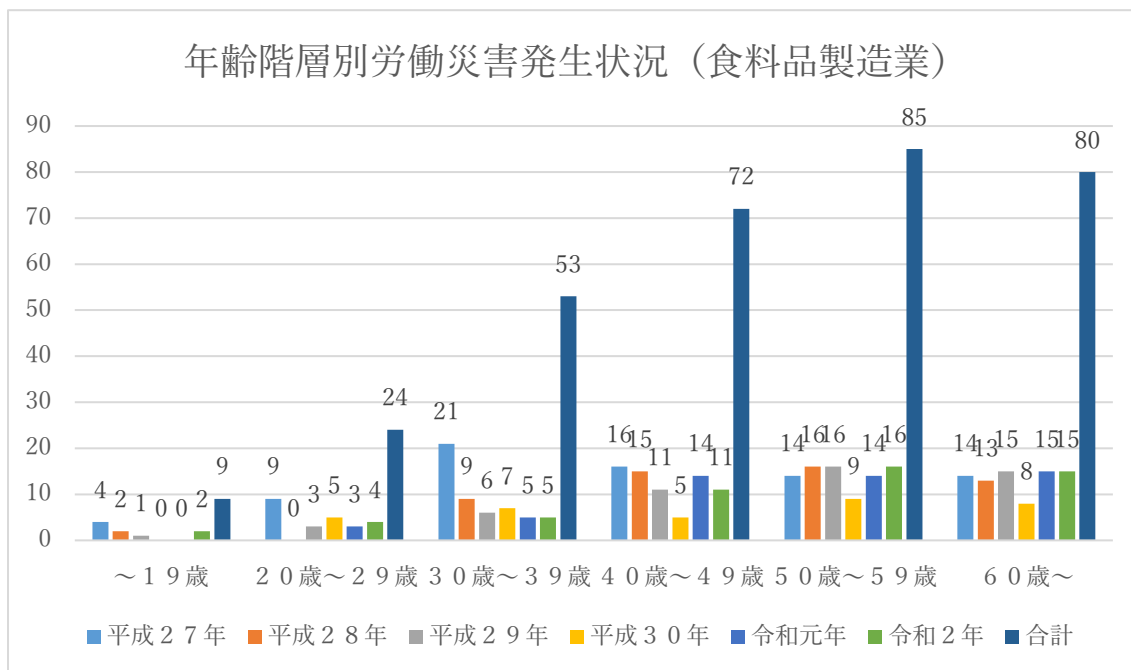
厚木労働基準監督署管内の食料品製造業の事業場において、平成27年から令和2年の6年間、「仮設物、建築物、構築物等（階段、作業床、通路等）」85件、「一般動力機械（食品加工用機械、包装機械等）」46件、「人力機械工具等（台車・ハンドフォーク等の人力運搬機、包丁等の手工具）」46件、「用具」41件の労働災害が発生しています。

#### 4 災害発生月別労働災害発生状況



厚木労働基準監督署管内の食料品製造業の事業場において、平成27年から令和2年の6年間、最多の10月に34件、9月に33件、1月、3月、4月及び11月の各月に31件の労働災害が発生しています。

#### 5 年齢階層別労働災害発生状況



厚木労働基準監督署管内の食料品製造業の事業場において、平成27年から令和2年の6年間、50歳代85件、60歳代80件、40歳代72件、30歳代53件の順に中高齢者が被災者の労働災害が多く発生しています。

## 6 類型別労働災害発生状況

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	合計
① 濡れた床面で転倒	4	7	2	3	6	22
② 機械の調整（目詰まりした場合の原材料の除去、異物の除去等）における切れ・こすれ及びはさまれ・巻き込まれ	2	4	3	1	4	14
③ 階段における転倒・転落	1	4	4	3	1	13
④ 機械の通常作業における切れ・こすれ及びはさまれ・巻き込まれ	2	5	1	3	3	14
⑤ 機械の掃除・洗浄作業における切れ・こすれ及びはさまれ・巻き込まれ	1	2	2	1	3	9
⑥ 床面のコード・ホースによる転倒	3	2	0	0	0	5
⑦ 台車等のつまずき・乗り上げによる転倒	1	2	1	3	3	10
⑧ 段差・溝による転倒	0	0	3	1	2	6
⑨ 包丁・ナイフによる切れ	2	1	0	1	3	7
合計	16	27	16	16	25	100
食料品製造業における労働災害に占める割合	29%	52%	47%	31%	47%	41%

厚木労働基準監督署管内の食料品製造業の事業場において、同種災害が多く発生する類型別労働災害の発生状況を集計した結果、食料品製造業の労働災害に占める割合が、過去5か年平均41%認められました。

これら類型の労働災害は、床面清掃徹底・水濡れ除去（①）、機械の危険源のインターロック機能付き安全カバー設置等の本質的安全化（②④⑤）、機械の掃除及び調整における運転停止（②⑤）、階段におけるより安全な構造改善・危険見える化（③）、コード等床面障害物の除去（⑥）、台車停車場等々の適正化（⑦）、段差・溝の解消（⑧）、切創防止保護具適正使用（⑨）等の危険防止対策徹底により、未然に労働災害防止することが可能と思料されます。